肥料等試験法（2026）の解説

農林水産省農業環境技術研究所（現在の「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」）が定めた「肥料分析法」は、肥料の品質又は表示方法を規定している農林水産省告示（「肥料取締法に基づき普通肥料の公定規格等を定める等の件」等）に採用され、肥料の品質保全と安全性の確保に貢献してきた。2020 年 2 月 28 日、これらの農林水産省告示の改正により、有効成分、有害成分等の分析法として独立行政法人農林水産消費安全技術センター（以下、「FAMIC」）が定める「肥料等試験法」が採用された。

「肥料等試験法」は、「肥料分析法」に加えて新しい分析機器を用いた試験法並びに新たな成分及び肥料に対応する試験法の性能を確認した結果をとりまとめ、FAMIC に設置した肥料等技術検討会において有識者及び農林水産省の担当官からの意見を踏まえて編集され、FAMIC において公表してきた。

「肥料等試験法」の編集にあたっては、使用する試薬、機器等を JIS 規格等で規定することにより明確にし、認証された標準液及び滴定液を利用できるように改正し、試験法ごとに操作のフローシートを記載して、分析者が作業しやすいよう工夫するなど、より分かり易い記載となるよう心懸けた。また、各試験法について妥当性確認のレベルによって分類されたタイプ（アンモニア性窒素 4.1.2.a 例：Type B）、改定年又は改訂履歴がわかる試験法の記号（アンモニア性窒素 4.1.2.a 例：4.1.2.a-2026 又は A-N.a-3）を概要に記載した。さらに、妥当性確認を実施した試験法については真度、精度等の成績を備考に記載した。

「肥料等試験法（2026）」では、FAMIC の調査研究課題として 2025 年度に検討した①試験法の適用範囲を拡大した試験法、②室間共同試験を実施して複数試験室による妥当性を確認した試験法の分類を Type B に変更した試験法、③試験法に一部追記した試験法、④試験法分類の変更及び適用範囲を拡大した試験法、⑤附属書の改訂についての改正等を行った。

① 試験法の適用範囲を拡大した試験法

・4.1.2 アンモニア性窒素　4.1.2.a 蒸留法
・4.1.3 硝酸性窒素　4.1.3.c フェノール硫酸法
・4.3.2 く溶性加里　4.3.2.a フレーム原子吸光法又はフレーム光度法
・4.3.3 水溶性加里　4.3.3.a フレーム原子吸光法又はフレーム光度法

上記 4 試験法について、菌体りん酸肥料を想定した「汚泥肥料を含む固形肥料」を試料に用いて、単一試験室による試験法の真度及び精度の評価を行った。

② 室間共同試験を実施し、試験法分類を Type B に変更した試験法

・4.5.4 水溶性石灰（カルシウム）　4.5.4.a フレーム原子吸光法

③試験法に一部追記した試験法

・4.3.2 く溶性加里　4.3.2.d ICP 発光分光分析法
・4.3.3 水溶性加里　4.3.3.d ICP 発光分光分析法

上記 2 試験法について、備考に内標準元素としてリチウムを用いることができる旨追記した。

④試験法分類の変更及び適用範囲を拡大した試験法

・8.7 有機ふっ素化合物　8.7.a 高速液体クロマトグラフタンデム質量分析法

PFHxS 及び PFNA について、室間共同試験を実施し試験法分類を Type B に変更した。また、他 11 物質について、単一試験室による妥当性の評価を行い試験法分類に Type D として追加した。

⑤附属書の改訂

・附属書 D2（参考）

測定条件の参考例に係る表を改訂した。

また、「肥料等試験法（2026）」の改訂内容などの情報を「肥料等試験法（2026）変更箇所（最新は赤字）及び肥料等試験法（2026）の性能評価」（参考資料）にとりまとめた。

本試験法は、行政機関の検査に用いられるが、肥料等の生産・品質管理、商品検査などに携わる方々にとって、品質の確保等の一助となることを期待している。

「肥料等試験法（2026）」の作成にあたり、肥料等技術検討会及び肥料等試験・サンプリング法検討部会の委員の皆様には、技術的な内容についてのご指導を賜り厚く感謝の意を表します。

2025 年度肥料等技術検討会 構成

（敬称略、五十音順、所属は 2026 年 3 月当時）

（委員）

相崎 万裕美	埼玉県下水道局下水道事業課
川崎 晃	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
河野 洋一	一般財団法人 日本食品分析センター
篠村 善徳	公益財団法人 日本肥糧検定協会
新町 文絵	学校法人 日本大学
成川 知弘	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
野田 晴美	公益財団法人 日本適合性認定協会
藤森 英治	（元）環境省 環境調査研修所
安井 明美	（元）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
渡邉 敬浩	国立医薬品食品衛生研究所

（アドバイザー）

白井 裕治	公益財団法人 日本肥糧検定協会

（関係者）

阿部 進	農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課
平田 絵里香	農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課

2026 年度肥料等技術検討会肥料等試験・サンプリング法検討部会 構成

（敬称略、五十音順、所属は 2026 年 7 月当時）

（委員）

川崎 晃	（元）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
河野 洋一	一般財団法人 日本食品分析センター 名古屋支所
篠村 善徳	公益財団法人 日本肥糧検定協会
藤森 英治	（元）環境省 環境調査研修所
安井 明美	（元） 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

（アドバイザー）

白井 裕治	公益財団法人 日本肥糧検定協会

（関係者）

阿部 進	農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課
歌門 伊吹	農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課